

## 触媒工業協会 平成26年度表彰式を挙

技術賞1件、功労賞1件 を表彰

触媒工業協会平成25年度表彰式が、平成26年6月6日(金)、学士会館において挙行された。本年度は、技術賞1件、功労賞1件の表彰が行われた。表彰式では、竹内副会長より受賞者に表彰状が授与され、会場より大きな拍手がおくられた。

本年度の受賞者は次の通り。

### ○技術賞

「軽油超深度脱硫触媒 STARS 技術の開発」

日本ケッチェン 株式会社

金井 勇樹 殿

安部 聡 殿

・国内軽油中の硫黄分規制は平成17年に従前の500ppmから50ppmに、更に平成19年に50ppmから10ppmまで強化された。この厳しい硫黄分規制施行に対応するため、燃料軽油の生産者である石油精製業者は常圧蒸留軽油から硫黄分を除去する工程(水素化処理工程)の設備増強を図ったが、同時に使用する水素化処理触媒の性能の大幅な向上が望まれた。

日本ケッチェン社は親会社である住友金属鉱山株式会社で開発された技術を基に平成10年に軽油超深度脱硫触媒 KetjenFine グレード KF 757 を上市した。以来、独自の STARS 触媒 (Super Type 2 Active Reaction Site) 技術として拡販し、KF 757 およびその後継触媒は灯油・軽油水素化処理装置向けの代表的な高活性触媒として国内石油精製にて広く使用され、国内の市場占有率は5割を超えることとなった。また全世界の石油精製会社においても広く使用されている。

受賞候補者2名は、住友金属鉱山および日本ケッチェン株式会社において20年超にわたり一貫して触媒開発業務に携わり、特にKF 757 およびその後継触媒などの日本ケッチェン社の代表的な触媒技術の開発に尽力・貢献を継続した。

### ○功労賞

株式会社 キャタラー

顧問 小野 博信 殿

・平成19年6月から平成26年6月まで理事に就任し、この間、平成20年6月に副会長に、また平成24年6月に会長にそれぞれ就任し、平成26年6月まで通算6年にわたり会長・副会長として当協会の運営を指導され、触媒工業全般の発展に顕著な貢献をされた。

触媒工業協会平成26年度第41回定時総会

